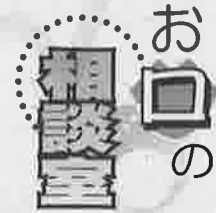


放置するとトラブルも



【問い】子どもの口がポカーンと開いていることがあります。口を閉じなさいと注意しても、またすぐに開いています。大丈夫でしょうか？
（大村市、32歳女性）

口唇閉鎖不全

回答者

やました 山下 雄平
ゆうへい

大村市竹松本町
またの歯科口腔外科
クリニック院長



【答へ】こうした状態は「口唇閉鎖不全」と呼ばれます。放置すると、むし歯、口臭、ウイルス感染、顔の歪み、かみ合わせの障害などのトラブルを起こす可能性がありますので、注意が必要です。

注意をしても、またすぐに開いている場合、お子さんの不注意ではなく、ほかに原因があるかもしれません。口唇閉鎖不全は、大きく二つの原因で起こります。すなわち「鼻」と「口」です。

鼻が原因の場合は、鼻詰まりがあり、よく喉が腫れて熱が出たりします。鼻で呼吸ができず口で呼吸することになり、必然的に口が開いてしまいます。耳鼻咽喉科で相談しましょう。

口が原因の場合は▽指しゃぶりをする▽前歯が出ている

▽食事中に音を立てる▽唇が乾燥する▽上唇が「山」の形で下唇が分厚い▽うがいができない▽などの症状があります。これらは舌の癖や、唇の筋力の不足で起こっている可能性があります。歯科医院で対応することができます。

具体的には、かみ合わせを確認し、唇や舌の筋肉の力を測ります。筋肉の力が不足する場合、口腔筋機能療法（MFT）という訓練を行います。自宅のできるストレッチや器具を使った筋エクササイズで、お子さんでも簡単に習得できます。早期に始めると将来、歯の矯正治療を回避できることもあります。

赤ちゃんから20歳ごろまでの間に、どれだけ口の機能を獲得するかが、高齢期に入ってから機能維持につながるかとされます。口唇閉鎖不全など口腔機能の発達不全は、保険診療で治療することができません。人生最後までおいしく食事をするために、乳幼児期からかかりつけの歯科医院を持つことをお勧めします。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-1860、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。